

9月のできごと まちかど クリップ

今季最後のご近所野菜市で復興支援

社会福祉法人白老宏友会が主催の「ご近所野菜市」が9月28日、北海道銀行白老支店前の会場で今季最後の開催日を迎えました。白老町民が家庭菜園で作った野菜を持ち寄り、格安で販売。今年は野菜が高騰する中、安くて新鮮な野菜市は毎回大盛況でした。この日は宏友会からの声掛けを受け、9月の北海道胆振東部地震でハウス内の灯油タンクが倒れるなどの被害にあった、むかわ町の神田園芸が参加。震災後に出荷できずにいたジャガイモや玉ネギなどの野菜を販売しました。



メナードウトナイ北店 道の駅ウトナイ湖で月1回ハンドケア

苫小牧市ウトナイ北6のエステティックサロン「メナードウトナイ北店」は、道の駅ウトナイ湖（植苗156）で月に1度の土・日曜日に無料で「ビューティーハンドケア」を行っています。ドライブ途中に立ち寄る女性らの手を優しくケアし、「腕の疲れを癒してくれる」と評判を集めています。同店は昨年10月にオープン。同駅でのハンドケアは、今年6月の第12回うとないまるしえからスタートしました。当初は不定期開催でしたが、22、23日に開かれた第13回うとないまるしえから月1回のペースで行うことが決まりました。ハンドケアは同店のエスティシャンがマッサージクリームを使い、手・腕にかけて約10分もみほぐします。10月は20、21日に実施。畠山尚子店長（50）は、「プロの手技による心地よさをぜひ体感し、運転疲れを癒してもらえたら」と利用を呼び掛けています。★メナードウトナイ北店は10月20日にオープン1周年を迎えます。31日までエステ利用者全員を対象に、6,000円のパックやシャンプー・コンディショナーセットなど豪華景品が当たる空くじなしの抽選会を実施中。初めてのお客さまは税込み6,480円のところ、2,160円で施術を受けられるので、この機会にぜひご利用を。問い合わせは同店（☎080-1874-8098）へ。



▲プロのエスティシャンが優しくハンドケア

土田英順さんチャリティコンサート 北海道胆振東部地震の被災地支援へ

苫小牧市音羽町1の妙見寺で9日、チェロ奏者・土田英順さん（81）の「チャリティコンサート」が開かれました。土田さんは日本フィル、新日本フィル、札幌交響楽団の首席チェロ奏者を歴任。今回のコンサートは当初、全国各地で開いている東日本大震災の復興支援コンサートの420回目として企画されましたが、土田さんの呼び掛けにより、北海道胆振東部地震の被災地支援へ変更しました。オープニングアクトにはインディアンフルートと二胡、スリットドラム演奏の「ここペリーな&おっしー」が登場し、オリジナル曲やアメリカのポピュラー曲「テネシーワルツ」など6曲を披露しました。土田さんは、「アベ・マリア」や「トロイメライ」、「白鳥」など11曲を演奏。東日本大震災で亡くなった女性のチェロを使った、復興への思いが込められた音色に、来場者らはじっと耳を傾けていました。みょうけんじ文庫を主宰する末澤香さんは、実話を基にした絵本「はしれ、上へ！ つなみてんでんこ」を土田さんの演奏に合わせて朗読。約70人の来場者から寄せられた義援金54,370円は、北海道災害義援金配分委員会を通じて北海道胆振東部地震の被災地へ届けられます。



▲復興への思いを込め演奏する土田さん

かわいい動物たちが幼稚園へ



◀引馬に乗る園児

苫小牧市しらかば町5のエンゼル幼稚園で13日、「なかよし牧場秋まつり」が行われ、園児や入園前の幼児と保護者、近隣住民らが詰めかけました。今年もヤギにエサをあげたり、ウサギを抱っこできるブースが並び、子どもたちは楽しそうに動物たちと触れ合っていました。人気の高い「どさんこ馬ステーション」には長い列ができ、子どもたちは順番に馬の背中にまたがると、カメラを構える保護者に向かって笑顔で手を振っていました。



◀抱っこ体験ができるウサギのブース